

図 10-17. 下垂体の副腎皮質ホルモン (ACTH) 免疫陽性ニューロン細胞 $\times 430$ 。
 図 10. A-0 群。 ACTH 細胞は下垂体前葉全域に散在し、円形、卵円形、星形など様々な形状を有する。
 図 11. A-80 群。 図 12. A-400 群。 図 13. A-2000 群。 図 14. B-0 群。 図 15. B-80 群。
 図 16. B-400 群。 図 17. B-2000 群。 対照群以外の ACTH 免疫陽性細胞は数、形態的に対照群のものと明白な差は見られない。

Quantitative RT-PCR analysis of expression of ACTH gene in the pituitary of mice.

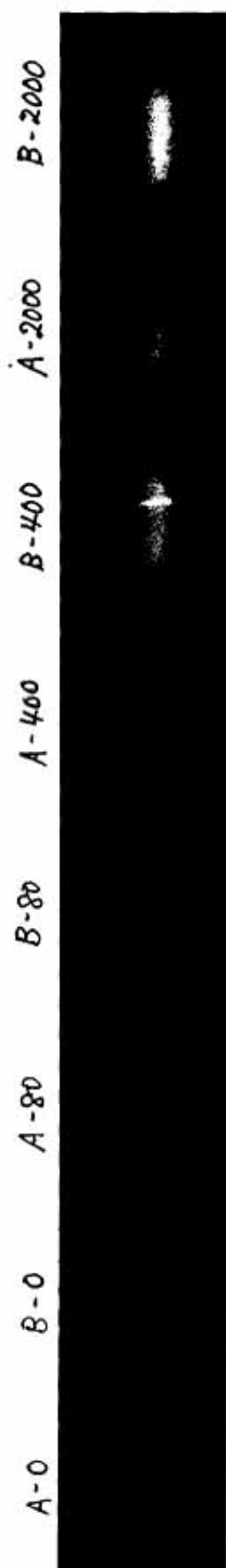


図 18. 半定量的 RT-PCR 法による下垂体内 ACTH-mRNA の発現量の測定。ACTH-mRNA の発現量は、A-0 群ではわずかであるが、曝露量依存的に増加した。A 群と B 群を比較すると、80ppb 群を除いて、B 群でより強い発現が見られた。

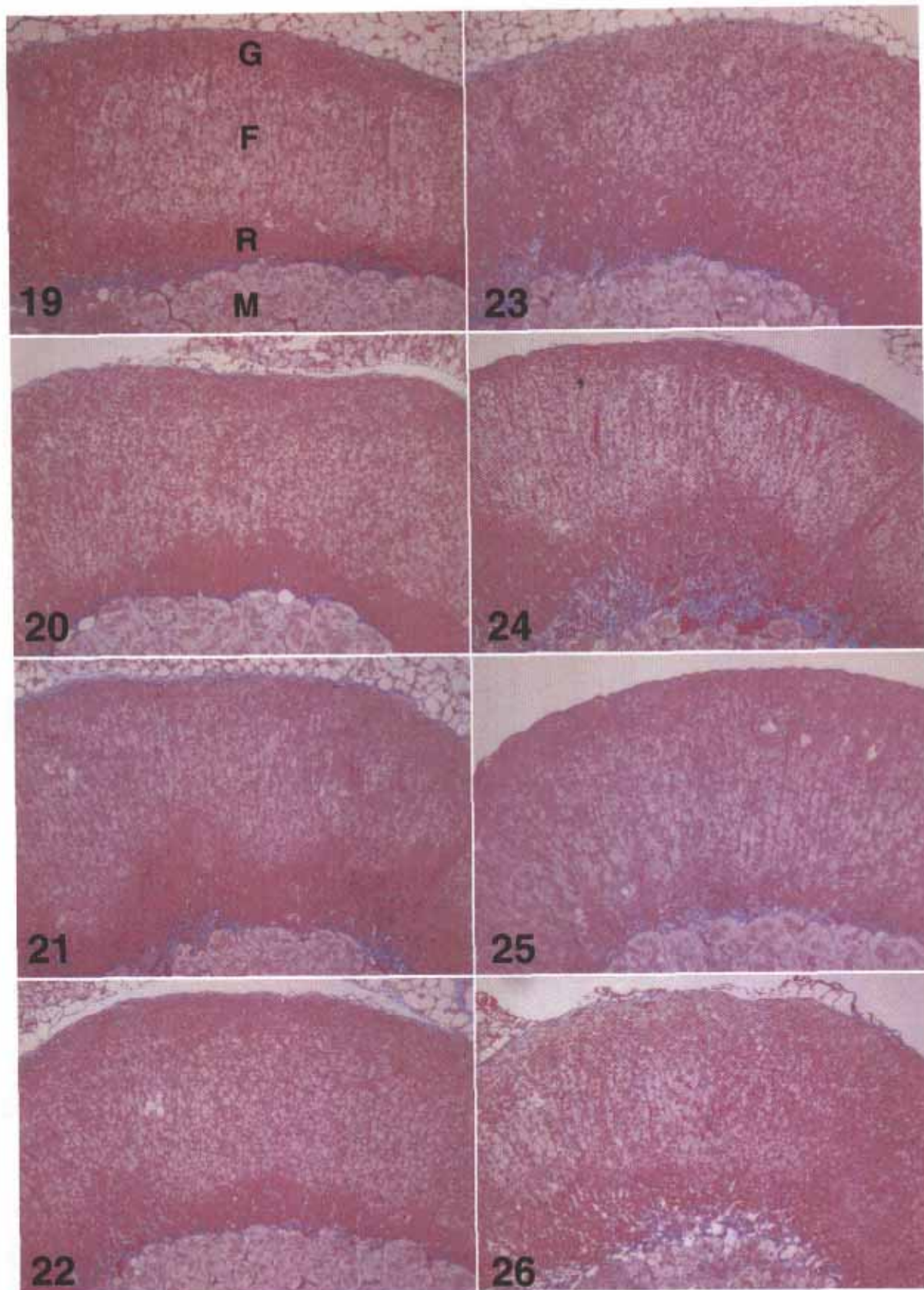


図 19-26. 副腎皮質 ×135。 図 19. A-0 群。 皮質は球状体 (G)、束状体 (F)、網状体 (R) からなる。中心部に髄質 (M) が見られる。

図 20. A-80 群。 図 21. A-400 群。 図 22. A-2000 群。 図 23. B-0 群。 図 24. B-80 群。 図 25. B-400 群。 図 26. B-2000 群。 対照群以外の束状体、網状体の形態は、対照群のものと明白な差は見られない。